

人食い蓮

町田市立藤の台小学校 五年 増永まきなが慶けい

二〇XX年、町田で、人間を食べる人食い蓮が突如現れた。その蓮は、根っこを動かして歩くことが出来、次々に人をおそっていくのだった……。

「キヤー！」また一人おそわれたか……研究者薬師丸は言った。実は、この研究者の薬師丸は、「蓮」に見つからないように、ひっそりと作られた、シェルターに、たった一人で暮らしていた。薬師丸はリスの研究をしている。ただの「リス」ではない。このリスは、植物をエサにしている特殊なリスであり、問題の「人食い蓮」も食べてくれるというワケだ。なんと、そのリスが、もう少しで、完成するのだ！

「つ、つ、ついに……できたぞ！」研究者は、小さなシェルターで絶叫した！。薬師丸は、早速リスを引き連れ外に出ていった。街には、すでに「人食い蓮」が沢山おり徘徊していた。

「ギッロ」と蓮の視線がこちらに向く。

「さあ、行くんだ！」と薬師丸が叫ぶと、リスが一齐に蓮に向かっていった。

「ウー——」蓮は、そう唸ってちりになった。これなら、蓮をたおせると、薬師丸は確信した。そうして、蓮を倒していくうちに、とある蓮が植えてあるY公園にたどりついた。

「キキキ」リスの金切り声のようなものが、きこえてきて、後ろを見ると、ふつうのならばいもの大きさの蓮が立っていた！薬師丸も少しふるえつつも、「行くんだ！」とリスをハスに向かわせた。「バク」何と、今度はリスが食べられてしまった。薬師丸はだまってみることしかできなかった……。そして思った「今までこんなに苦労して研究したリスを死なせていいのか」と。

研究者薬師丸は、立ち上がりリスと一緒に蓮と戦った。長い闘いの末、勝利。たった一人が公園に残された。薬師丸はうれしさのあまりさげんだ。

「うわ——！」

ドシツと何かいやな足音がして、ふと後ろを見るとそこには人食い蓮が……。

審査員講評

手に汗握る、町田パニックホラー。蓮、薬師丸、リスなどが町田由来のキーワードだと知っていても知らなくても楽しいですね。街の魅力をこんな意外な形に進化させられる発想力に感服しました。「ギッロ」とか「キキキ」みたいな擬音語や声の表現も個性的でしびれます。町田に行きたくなりました。

—— 藤岡みなみ